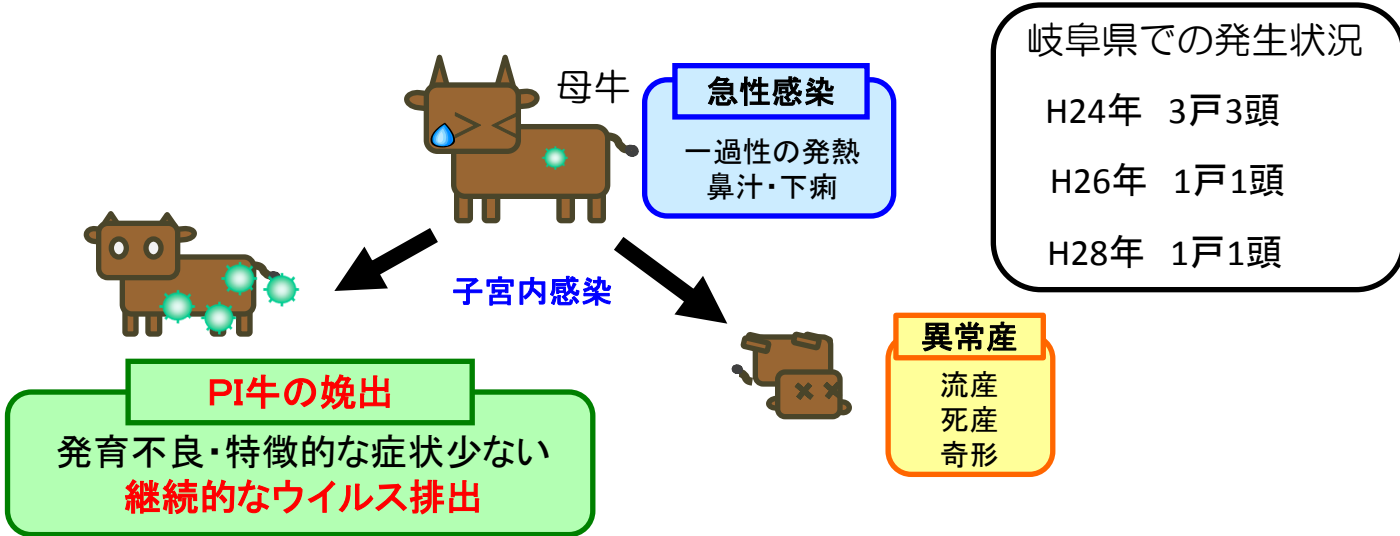


牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）にご注意

★牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）は、BVDウイルスによる、主に牛の病気（届出伝染病）です。



★持続感染（PI）牛とは？

- 免疫のない母牛にウイルスが感染すると、子宮内感染し、特に胎齢40～100日前後の感染では、胎児の免疫機構が出来上がっていないため抗体を作ることが出来ず、PI牛として娩出されることがある
- 外見上、正常な牛と区別がつかない
- 生涯にわたり、ウイルスを排出し続け、周囲への汚染源となる
- PI牛の一部は粘膜病を発症（食欲減退・活力喪失等）

★対策は？

○ワクチン接種をして、感染を予防しましょう！

- ・妊娠牛には生ワクチンを接種できませんので、ご注意ください。
- ・ワクチンプログラムは裏面を参考にしてください。

○PI牛を農場へ入れないようにしましょう！

- ・導入の際には、隔離観察を行うとともに、ワクチン接種状況等を確認しましょう。

○早期摘発・淘汰のために、検査をしましょう！

- ・PI牛が見つかったらその牛を淘汰するとともに、同居牛に感染していないか必ず確認しましょう。

**対策をしっかりとすれば、農場からの排除・農場への侵入は防除出来ます！
心配な点がありましたら、家畜保健衛生所または担当獣医師へご相談を！**

